

# めだかの学校だより

平成19年8月1日  
第57号

学舎：東久留女木新田観音山  
「みどりの郷キャンプ場」内  
事務局：静岡県磐田市  
家田 529-20  
TEL0539-62-6691

## 校長訓話

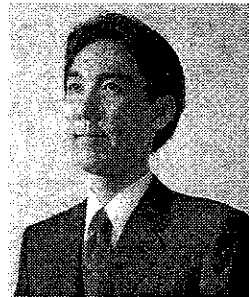
第五十七回校長

城内 実

このたび、めだかの学校の校長を拝命いたしました城内実です。私のように入校歴が浅い若輩のめだかがいきなり校長先生とは……身に余る光栄ですが、きちんとお務めを果たすことができるかどうか、今から不安です。

さて、めだかの学校の生徒（めだか）としてこれまで何回か授業に出席させていた気がついたのは、それぞれのめだかがみな個性豊かで、自然と人と平和を愛しているすてきな方々ばかりであるということです。そしてまた、人生を大いに楽しんでおられます。

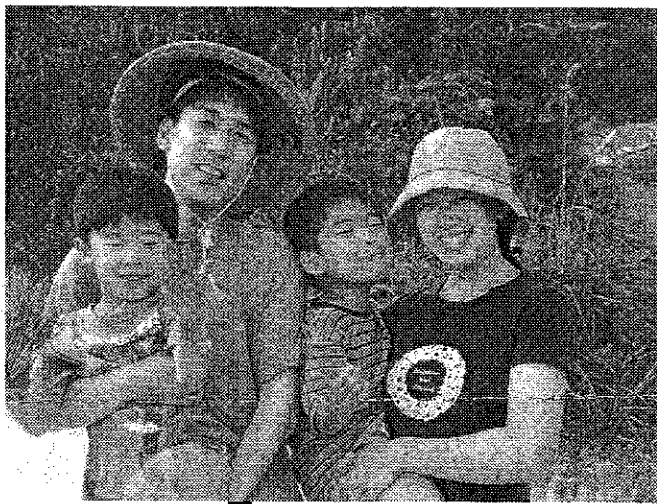
今の日本は、経済効率優先の市場原理主義が支配し、強いものだけが勝ち続け、大多数の庶民は負け組という格差社会が広がっています。こういう社会の風潮に対して、わが学校の多くのめだかたちが疑問に感じているので



はないでしょうか。たましいがきれいなめだかはちよつとした「水の汚れ」に敏感です。

弱者に優しく、地方にも暖かく、一人でも多くの人が健康で幸せを感じられるような政治を私たちがめだかは求めています。先の参議院選挙で政権与党が大敗したのも、大都会優先、大企業・金持ち優遇、地方及び弱者の切り捨ての構造力イカク路線に対して国民がN.O.をつきつけたからではないでしょうか。

城内実の究極の目標は「万民幸福」です。「勝ち組、負け組」の殺伐とした社会ではなくて、日本古来の「和の精神」でもって一人でも多く「しあわせ組」をつくりたいと思っています。中にはそんなことは不可能だという方もあるかと思いますが、私は常に



「万民幸福」という言葉を胸に抱き、これからもぶれない政治家であり続けたいです。  
モノ、カネ、チカラ（軍事力）が幅を利かせた20世紀の物質文明から21世紀は目に見えない心（精神）とかお力ネに換算できない環境といったものを重視する精神文明の時代だといわれています。  
額に汗してまじめに働いた人が報われる、日本人であることに自身と誇りを持つる真つ当な社会を、共に目指しましょう！

## めだかの学校伝言板

——第57回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／城内 実

教頭／今村純子

用務員／加藤直樹

給食係／浜口睦睦、間淵亮太、萩田 博、古田賢二郎、土井堅史、徳増兼弘、石野省三、加藤直樹、荒木順子、佐藤律子、大谷香代子、渡辺三ツ子（チーフ）

<学舎> 静岡県浜松市北区引佐町東久留女木観音山  
みどりの郷キャンプ場  
TEL なし

開校日／平成19年9月7日（金）6：20PMより

受付／鈴木祐之、太田康雄、若森光子、齊藤 昭（後見人）

<時間割> [期初特別授業]

～時代は『知遇知生』知に遇って知を生ず。  
まずはグチ川柳（？）～

『日本の未来は明るいか

みんなでグチる、グチちゃおう！

まとめは城内校長「アイアム そ～り～」

（発表時間1人2分）優秀者には、大賞あり。

給食の時間

～旬のお料理「まつたけご膳」（？）

10：30 閉校

# めだかの動き

## 泳ぎ回るめだかたち

### ■メダカは馬路へ

「馬路」といっても、馬の通る道ではない。高知県の徳島県寄りの山間道ではの名前である。かつては、林業で大いに栄えた村であったが、外材の影響などでひどく寂れてしまった。仕方なく、村で細々と栽培されていく唯一の換金作物である「ゆず」に懸けて、今では「ゆず」の絞り汁やポン酢などの加工品で年間三十三億円を売り上げるほど発展し、村を訪れる人も激増した村である。

その高知県安芸郡馬路村で、第五回「全国まちづくり交流会」が開かれた。全国まちづくり交流会が開かれたことで、水野忠義メダカ、村松達雄メダカが行ってきた。

「全国まちづくり交流会」は紅葉で知られた香嵐溪のある愛知県足助町（現在は豊田市）のみなんさんの呼びかけで、一回目が足助で開かれ、全国からまちづくりの意欲を燃やす人たちが集まり、研修や情報交換をした。二回目は与論島、三回目は阿波勝浦、四回目は北海道佐呂間町で開かれていた。今回も、呼びかけ人の足助をはじめ、これまでの開催地の人たちはもとより、伊勢や京都、鳥取や鹿児島、沖縄などから、約九〇人が馬路村に集結し、大勢の地元の人たちが加わった。

二泊三日の大交流会であった。一日目は、高知空港から室戸岬などを見学した後、海岸部から川沿いの細くて曲がりくねった県道を約二〇キロほど走って馬路村に入った。夕食は、河原で開かれた前夜祭であった。天然鮎の塩焼きやおのたきなどがたたくさんを出され、全国から集まった人たちが、再会を喜んで、初めての出会いを楽しんだ。

二日目の午前中は、中心部からさらに山奥の杉の自然林を見学した。そして午後に、本番のまちづくり交流会が始まった。最初は、村長の歓迎あいさつと村の紹介があり、馬路村農協の東谷組合長から、ゆず加工品の販売の歴史、製品

だけでなく、「村を丸ごと売り出す」という地域づくりのコンセプトなどについて話があった。次に、愛媛県の双海町（現在は伊予市）の若松進一氏から、「沈む夕日にまちづくり」と題して基調講演があった。若松氏は、役員職員として美しい夕日を生かしたまちづくりの経験、新しい公園や特産品の開発、夕日コンサートの定着化などを先導し、地域の活性化に大きく貢献された。ともに全国観光力リスマに選定されているお二人に共通の信念は、地域に新しい風は吹かせるが新しいものではなく、都会に媚びることなく地域あるものを徹底的に生かすことである。そして、「成功の秘訣は、成功するまでやること」ということを、身をもって教えてくれた。

講演の後は、各地のグループごとに、発言の時間が設けられ、我が「メダカの学校」も水野さんが、のぼり旗をもちながら、普段の学校の様子や十五周年記念行事を準備していることなどを紹介してくれられた。そして、また、かつおのたたきや鮎、各地から持ち込まれた銘酒、北海道からのホタテ貝や毛蟹などで大交流会が行われた。途中で雨が降り出した。農協のゆず加工工場の中へ降りても、大ホテルのロビーのようなところへ場所を移して、大宴会は続いた。翌日は、せつかく土佐まで出かけたので、高知市内に後泊して、レトロな町並みを残す赤岡町、何百年も前から続いているという日曜市や山之内一豊や坂本竜馬ゆかりの史跡、四国巡礼八十八箇所所なども回ってきた。

この交流会は、取り立てて大きなテーマのある集まりではないが、全国各地でさまざまな素晴らしい活動をしている仲間を知り、意見交換したり新しい情報を得たり、互いに励まし合うことができた。メダカも泳ぎ回れば、面白いことに出会えます。少し、ヒマとお金は掛かりますが、遠足に出かけましょう。

(なんでもあり農園小作人の松)

(森の達ちゃん)からの追伸

「安田川沿いのくねくね道を登ると信号機のないむら「馬路村」があります

バ。初めての高知県、田舎だなと思いはそんな一番山奥。しかし、村長さん自らの出迎えがあり、また、多くの若い方が奔走し、村ぐるみの熱烈歓迎がありました。交流会では東谷農協組合長の「馬路村」物語や双海町若松元教育長の熱弁に、そして、多くの出会いに感激した3日間でした。

来年は十一月に足助町で第6回大会があります。みなさん是非参加してみてください。

### ■小櫻義明先生・静岡大学名誉教授就任記念の会

先日、静岡大学人文学部・小櫻義明先生が退官され、同大学名誉教授に就任されました。それを記念して、静岡市内「江崎ホール」を会場に、県内の地域づくり関係者約60名が参加して、「小櫻先生・静岡大学名誉教授就任記念会」を開催しました。静岡県の地域振興や中山間地などの活性化を命題とし、大学の教授としての、また自身が静岡市の中山間地・大間地区に居を構え、実際の生活の中で実践を通してながら、静岡県の地域づくりの中心的存在として「尽力いただいています。また、県内地域づくり団体の組織である「しずおか未来づくりネットワーク」の代表幹事を発足当初からお務めいただき、人づくり塾のアドバイザー幹事として、多くの人材を育てていただきました。

記念会では小櫻先生による「静岡県の地域づくり論」の講演をしていただき、実践者からの地域づくり活動の現状や問題点に対して、丁寧なお答えをいただきました。

会場を見渡せば、溝口大魔神メダカや村松達雄メダカ、横山忠志メダカはじめ、元メダカやメダカ関係者がうようよ。会場を会場を移しての「懇親会」では、よ・の・あ・ち・で・咲・い・ま・し・た。地域づくりの義一の話の花が咲いていました。

小櫻先生には、今後とも静岡県の地域づくり活動において、ますますのご活躍を期待するところです。(鈴木武史メダカ)

### ■都田川ダム湖・野外ステーションにコスモスのなえを植える

6月17日(日)の朝9時、いなさ湖野外ステーションに服部守孝、伊藤英雄、加藤修一、石野省三、渡辺三ツ子、大谷香代子、牧野久子、榎原幸雄の8メダカが地域の肝一人が集合、幸あれ、昨日届いたの善の肝一人の苗が届いていない。コスモスの苗2,000本提供の島田市の岩本伴江メダカに電話。聞けば「まだ福山通運の中継所にあつた」という。届くまで土づくりをする。相変わらず石ころだらけの土は固いが、前回の菜の花の時より良くなっている。午後1時ごろに花が育ち、水かけは伊藤英雄メダカがポンプを持ってきてくれたので、大助かり。夏が楽しみです。

(※コスモス順調に育っています)と牧野久子メダカ。

### ■めだかの課外授業・3つの探検隊の第4回都田川・水源まつり

平成19年8月18日(土)午前8時30分より、都田川ダム湖「いなさ湖野外ステーション」を会場に、「第4回都田川水源まつり」を開催する。楽しく遊んで知識も高めて汗もかく。「都田川の源流探検」。「久留女木の棚田と水生生物探検」。「ダム湖で魚釣りをしながらの魚種探検」の3つ探検隊と、いかだを作って湖面をエッサワッサ、松本芳廣メダカの手打ちそば、くるくるウインナー、カレーなどのグルメ。水質検査やあくらフトづくりなど、夏休みのお手伝いも。参加費200円、グルメ500円。問合わせは、053916206691、めだかの学校事務局榎原まで。

■地域活性化フォーラム「静岡新しい交流の目指すもの」参加者募集!

(財)地域活性化センターでは、『新しいふるさとづくりー移住・交流の目指すものー』と題して、8月29日(水)午後1時30分から、4時50分まで、静岡市駿河区馬淵の静岡県男女分画センター「あざれあ」大ホールで開催する。基調講演は白石真登関西大政策創造部教授の『住んでよし!訪れてよし!の街づくり』。2時50分からのパネルディスカッションはパネリストに小櫻義明静大名管教授、渡辺法子稲取温泉観光協会事務局長、加藤仁ノンフイクンライターら。参加料は無料。興味のある方は事務局から一括申込みしますのでご連絡ください。

### ■『第2回はまなこ楽会』参加者募集!

はまなこ環境ネットワーク(事務局NP法人地域づくりサポーターネット・山内秀彦元メダカ)では、9月22日(土)午後1時から5時まで、舞阪文化センター(旧舞阪町役場隣)で、浜名湖地域の環境に関する市民啓発を目的に「見えて知って、楽しむ」イベントを開く。環境パネルセッション、貝殻クラフト体験、環境啓発映画「不都合な真実」(DVD映画会)、湖上遊覧セミナー(有料)など。(めだかの学校と都田川菜の花プロジェクトも加盟しています)問い合わせは053445510220地域づくりサポーターネット山内まで。

### ■「トイレ掃除で心を磨こう」と森町掃除に学ぶ会

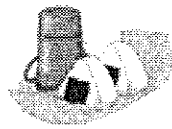
「森町掃除に学ぶ会」(代表世話人榊原淑友メダカ)では、9月16日(日)8時(受付7時)から12時30分まで森町立森小学校を会場に「トイレ掃除で心を磨こう」と、第1回「森町掃除に学ぶ会」を開催します。参加希望の方は、掃除実習代(千円)昼食・お茶付)と長靴・汗拭き用タオルが必要です。問い合わせは榊原淑友メダカ携帯090147216189まで。

また、10月11日(木)午後7時より森町文化会館(三木ホール)で、中村文昭「お金でなく人の縁でつつかく生きろ」の講演会を開く。中村文昭さんの涙あり笑いありの感動の体験談です。チケットおよび問合せは、亀澤進メダカ携帯0901156716256

### ◆学舎の草刈りと清掃

9月2日の日曜日、朝9時より学舎の草刈りと給食調理室などの掃除をします。特に57回は星空の下での野外授業です。草刈り機・カマ・ノコギリ・熊手など、あるかたはご持参ください。お弁当持参でお出掛けを。いい汗かいて楽しく会食。

待ってまゐります。



### 人・ひと・ヒト…だより

○浜松市の内山ゆきゑメダカ。環境問題啓発と中心市街地活性化を目的にしたイベント「まち・行っかー」を7月22日、浜松駅前ギャラリーモールで開く。森林保護のパネル展、環境グッズ販売、PAFに参加する劇団による殺陣や朗読、物産展も開かれて大いに賑わった。次回のイベントは8月19日、9月30日も。がんばっている姿、静岡新聞の「このヒト」にも載りました。

○森町の村松達雄メダカ。かつての秋葉街道宿場町の賑わいを取り戻そうと、有志と大中小の行灯900個を用意して、森町中央通り商店街を中心に並べる。森町の夜を幻想的な明かりで包んでいる。8月15日まで。どうぞです、夕方浴衣を着て歩いてみたら、素敵ですよ、と。

○袋井市の松本芳廣メダカ。7月21日に遠州そば食文化研究所メンバーらと『そばとさめきうどんを』打って食べる会を自宅そば道場で開く。そば打ち自称名人20人が集まる。めだか生も食べたかった、マツちゃんの手打ちそば。

○静岡市の米田寛メダカ。SBS学苑局長から駿府博物館館長に。同館では8月3日から9月9日まで磐田市生まれの洋画家故宮永岳彦氏の没後20年油彩画特別展を開く。場所は紺屋町国道一号線沿いにあります。静岡駅から西に歩いて5分。お寄りください、と。

○浜松市の豊田由美メダカ。富士市の実家、故佐野玲子メダカが育てたブルーベリー、そのあとを更に増やしてブルーベリー狩り園にした故メダカ。毎週通っては手入れ。二人の意志をついで『ちやの生農園』として開園。主婦、子育て、仕事…多忙な日々の中のがんばり。「なくなつた玲子ママにそっくり」と伊藤英雄メダカ。

○島田市の土屋誠一メダカ。来々年4月イタリアのフィレンツェで開かれる『日本とイタリアの文化交流』に、県内の水墨画や生け花の人たちと一緒に『地蔵賛歌』としてお地蔵さん3体を展示する。一体は完成したが、残り2体は制作中。11月28日から12月2日まで、焼津市のぎやらりい「土泥棒」で展示会を開く。

○浜松市の鈴木偉代メダカ。富士郡芝川町のホールアース自然学校のスタッツ

フに。賄い担当だった。『食』は原点。環境教育学習にも関わりを持っていた。からまさにピッタリ。住居は富士宮市に浜松市の自宅は息子さんに任せて。「いい人、いませんか?」とか。

○袋井市の湯浅明メダカ。来々年の2月まで磐田市の岩田公民館で、毎月第一金曜日の夜「アロマセラピー」の講師に。「こめんね、来々年の3月まで出られない」と。

○浜松市の水村春江メダカ。浜北JCの30周年記念の司会進行を。30年ぶりだつて、「そう第一回の司会は私なの」と。「独身の方のご結婚のお手伝いも致しますわ」、赤い糸の縁結び「しあわせ企画」も。

○浜松市の溝口久メダカ。「全国規模のフォーラム」全国まちづくりフォーラムIN奥大井」を大井川上流の川根本町で開催します。9月7、8、9日です。学・遊・食・交をたっぷり楽しむことができます。http://www.town.kawanishi.shizuoka.jpをご覧ください。小生、8日の分科会を一つ担当します。松本メダカも「夜つぱとい炉端談義」で手打ち蕎麦をふんだんに振舞います。めだかの学校の翌日からの8、9日の参加でもOKです。是非お越しください」と。

○旧豊岡村(現磐田市)の鈴木正士、伊藤英雄、深澤明男、金原志朗、佐野蓉子のメダカ生、6月25日に元氣村「味里」で、「バラ夫婦、豊岡受け入れ承認会」を開く。「暖かく豊岡に受け入れて頂きました」と感謝感激のバラ夫婦。新築祝いの記念樹まで頂いて。

今回はこれまで。バラさんの『街角ファイナル』と『めだか春秋』は都合によりお休みです。

☆ある『老化現象』と『聖隷ホテル』

磐田市の榊原幸雄メダカ。ある日のこと、左下腹部にシコリが。押すとムニユと元に戻るよう。だんだん大きくなって病院へ。玄関案内の看護師さんに、「左脇腹にシコリが、押すと戻るよう...」

と取って電池カミソリでゾリゾリと袋の下まで。ピクツ、イテツ、もう恥ずかしいやら痛いやら。そして腸の中のものを全部だして。10時手術室へ。(ウツ、殺風景、これ解剖室...)。下半身麻酔して執刀。

■事務局だより

暑中お見舞い申し上げます。暑いですね。各地で猛暑、世界各地で異常気象。地球温暖化、叫ばれて久しいが、暑い暑いで冷房して、テレビはつけ放し、電気もつけっぱなし、コンビニなど24時間営業の店も増え

務員。三者三様まさにフランスとれて。授業は一時の間、寺田悦子先生の「合気道は“氣”。呼吸が大事と。武は相手に武器を使わせないで済ます自然の法。合気道のお相手役は高校時代の同級生加茂光廣メダカ。

第57回めだかの学校職員会議を、7月19日(木)7時から豊岡元氣村「味里」で開く。第57回は9月7日、この日から15周年に入る。通年最初の授業は特別授業が多いので今回は、テーマなどいろいろ話すが...

第15期の継続手続き始めています。第15期は、平成19年9月1日から20年8月31日までです。まだ継続手続きがなされていない生徒には再度申込み書を同封します。8月31日までに済ませるか、9月7日の開校日に持参するかしてください。

の標語みたいだね」とは影の声。その他8月18日の水源まつり」など話し合う。(注)テーマなど、たよりの伝言板は加筆して体裁を整えました

■今回も例にもれずお詫びとお礼！ 今回は脱腸の手術で、一月月の静養期間があるので原稿は早く書けると思っていたらなんと頭の方も静養してしまつて「ほけろ!!」お赦しを。そんな私を支えてくれた松本芳廣、鈴木武史、溝口久、本島慎一郎、伊藤英雄、榊原淑友、石野省三、照井易子のメダカさんありがとう！。感謝です。

■めだかの学校だよりの原稿待ってます。 次回の発行日は11月1日。原稿締切りは10月20日(土)です。地域のイベント、皆様に聞わりのある行事・個人メッセージでも結構です。事務局まで郵便かFAXで。メールの方は terui@nbnnet.co.jp 照井易子あて送信してください。(メールの方は割付の関係もあるので「」報を！)

■めだかの学校事務局

〒438-0105 静岡県磐田市家田529番地200 榊原幸雄方 TEL0539-62-6691 (FAX同) ※迷惑をおかけ致しました。6月1日よりこちらへ引越しました。どうぞよろしくお願ひいたします。 ※学舎「みどりの郷」は何もありません。連絡、お問合せは事務局まで。



## 秋の岐阜路「視察ツアー&交流会」～

地域がくり情報誌「かがり火」の菅原敏一×ダカから、「めだかの学校」に「秋の岐阜路～中津川市のサラダコスモの視察と、中田智洋社長の奮闘記の講演と、長野県阿智町で、農家に民泊しての交流会」の共同企画の提案があり、行なうことになりました。サラダコスモは、かいわれ大根、モヤシ、アルファルファ、そば、地プロ、エーの新芽など、スプライト野菜を先端技術を使い、水耕栽培しており、その他先駆的農業経営をしている会社です。そのあとは、阿智町の昼神温泉で汗を流して、山の中腹の農家民泊で、各地の素晴らしい技と個性の面白い人たちと交流会を行います。

◎日時: 11月3日(土) 正午現地集合  
(昼食・工場視察、中田社長講演、終了は午後3時の予定)  
\*4日(日)は、朝食後現地自由解散。

◎ところ: 岐阜県中津川市 (株)サラダコスモ

◎交流会: 長野県阿智町の農家民泊の予定

◎参加費: 日帰りの方  
 ・昼食+お風呂=3,000円  
 ・昼食+お風呂+交流会(3,000円)=6,000円  
 ※お酒を飲む方は別途

### お泊まりの方

・昼食+お風呂+交流会+宿泊+朝食=12,000円くらい

◎交通手段は、車の乗り合わせで行く予定です。

・現地直行 ・旧引佐町役場に集合して乗り合わせ  
 ※日帰り、宿泊によっても変わります。

◎車代、ガソリン代など交通費は別途計算といたします。

### ◎お申し込みは—

日帰り交流・宿泊など、コース明記のうえ、10月20日までに郵便、FAX(0589-62-6691)でお申込み下さい。

※参加者には、コース別、乗り合わせ車など後日連絡します。

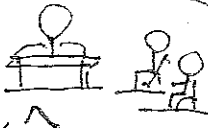
■めだかの学校事務局 〒438-0105 磐田市家田529-20  
 榊原幸雄 0589-62-6691



～めだかのトピックス～

### 第58回(12月7日)の校長先生 佐藤律子さんから大場敬子さんへ

第57回(9月7日)のめだかの学校で、次回58回の3役を公表され、校長に佐藤律子さんがなりましたが、後日体の不調などもあり、辞退の申し入れがありました。止むを得ないことと、了承しました。何人かの候補の中から新校長には若い大場敬子さんになっていたことになりました。よきお願いをいたします。新3役には、校長 大場敬子、教頭 池谷俊裕、用務員 土井堅史となります。



### 秋はコスモス、春は菜の花

都田川ダム湖「いなさ湖」のコスモスの花が満開です!!

(コスモスは島田市の岩本洋江さんが贈ってくれたものです)

菜の花の夕ネまきをします。

人手が欲しい  
みんな来て〜!!

●日時 10月21日(日) 9時〜 お弁当持参で!

●ところ 都田ダム湖「いなさ湖」野外ステージ

草刈り、土づくり、夕ネまき、etc.....

●草刈機、クワ、カマ、スコップ、ジョロなどあるものを持参で。

※軍手、移植ゴテ、草刈機は用意してあります。(草刈機の刃も8枚あります)

秋の爽やかな陽を浴びながら、楽しく遊んで知識も高めて汗も

◎はままりの美術家展 会期 1期 9月29日〜10月14日 会場:浜松市美術館  
(鈴木真弓さんの全期出品しています) 2期 10月20日〜11月4日 浜松市中区松坂町  
3期 11月10日〜11月25日

◎「お金でなく人の絆で、かく生きろ」中村文昭講演会

●10月11日(木)夜7時から 森町文化会館大ホール 一般1000円(高校生以下無料)

●問い合わせは、「森町掃除に学ぶ会」榊原淑友 0538-89-7810

◎『遠州横須賀街道 ちっちな文化展』(掛川市横須賀)

●10月26日(金)、27日(土)、28日(日) 26日は13時〜、27日・28日は9時〜

78がらの会場で、120人の作家さんの技を披露。

●問い合わせは、177文化館 0537-48-4376へ。又は鈴木武史 0537-48-3060

### 「めだかの学校だより」制作者の変更とEX-IL入稿の変更

長い間「めだかの学校だより」の制作を一手に引き受けてやって来ていた工又ビーネットの照井泰子さんが、諸事情により、出来なくなりました。第58号からは浜松市のマヂ、トルネンクの間判亮太さんが引き受けてくれることになりました。今後のEX-IL入稿は、EX-IL/maduchi-trd@ytr.tne.ne.jpです。

電話 053-466-7650 FAX 053-466-7651。

生原稿は従来どおり事務局へ、FAX又は郵便で。

照井さん  
長岡 ありがとう